

オンライン展覧会「多摩川を渡る—六郷橋と六郷渡船—」
エピローグ 翻刻

神奈川県令 沖守固殿

同
平川平五郎印

神奈川県令 沖守固殿

前書之通相違無之候也、

【史料32】

(前略)

六郷川渡船賃錢之儀ニ付上願

本月一日方大風雨ニテ多摩川満水致シ、翌二日午前五時三十分六郷橋流失、人民通行差支難渋致候間、往復便利ノ為メ從来之慣例「虫損」隨ヒ御届済翌三日午前十時ヨリ仮渡船相設通行相開候処、追々減水候ニ付平水ニ至り候ハト賃金

一、步行立 壱人 金八厘

一、人力車 壱轍 金壹錢五厘

但挽夫ハ別度受取可申事

一、荷積車 壱轍 金壹錢五厘

但前同断

一、牛馬 壱頭 金壹錢五厘

但口附ハ別段受取可申事

一、堀足立馬車 壱轍 金六錢

一、式足立馬車 壱轍 金八錢

右之通相定メ通行人民ヨリ賃錢受取、駅内人民其他公用之向キハ無賃ニテ渡船為致度、此後増水三尺ニ至り候ハト賃錢倍増、其ヨリ壹人每ニ倍増受取度、尤五尺以上之増水ニ至り候ハト危険ニ候間渡船差留候間右之段御聞届ケ相成度連署奉願候也、

橋樹郡川崎駅各町

人民惣代

明治十八年七月六日

根本助右衛門印

土第四百九号
書面願之趣聞届候条掲示札調製記載方土木課へ可申出事
明治十八年七月十日

神奈川県令冲守固印

【史料33】

六郷川渡船開設願

本日四日、六郷川増水ノ為メ本町久根崎地先ヨリ東京府荏原郡六郷村ニ達スル橋梁流失シタルヲ以テ、往来ノ人民其他貨物ノ運搬等ニ非常ナル困難ヲ極メ其情見ルニ不忍、依テ我等有志者ニ於テ本日ヨリ本月三十一日迄廿六日間、昼夜共川崎町久根崎河岸共同物揚場ヨリ東京府荏原郡六郷村大字八幡塚共同物揚場へ渡船往復致度、別紙渡船賃表及ビ略図相添此段奉願候也、

神奈川県橋樹郡川崎町新宿百廿九番地

平川平五郎印

同郡川崎町久根崎拾八番地

石井又右衛門印

戸長

田中光弼印

明治三十年五月六日

六郷川渡船開設願

同郡同町久根崎九番地

大野辰之助印

前書之通相達置候ニ付奥印候也、
明治三拾年五月六日

橘樹郡川崎町長稻波惇太郎印

同郡同町新宿六十番地

鈴木仙八郎印

神奈川県指令内第一一二四号

書面願之趣聞届候條左ノ通相心得ヘシ

一、渡船ノ開始・廃止トモ当庁並ニ諸葛警察署ニ届出候ヘシ

二、渡船期限ハ六郷仮橋修繕落成マテトス

三、減水ノ時ト雖モ川底ヲ浚渫スヘカラス

四、治水上障害アリト認ムルトキ、又ハ当庁ノ都合ニ依リ何時ニテモ発

シ、

明治三十年五月七日

神奈川県知事中野健明

印

賃錢表

徒步

一人二付

金八厘

〔破損※人力車カ〕

二人乗

金三錢八厘

一人乘

金二錢六厘

同

大荷車

金三錢六厘

小荷車

壹輛

金二錢三厘

空車

同

金二錢三厘

乗馬

壹頭

金二錢八厘

荷馬

同

金二錢八厘

二疋立馬車

壹輛

金三錢三厘

一疋立同

同

金二錢六厘

牛馬

壹頭

金五錢六厘

同空車

同

金五錢一厘

牛馬荷車

壹輛

金三錢三厘

自転車

壹輛

金壹錢八厘